

魅力再発見!!

マイントピア別子は「道の駅」に登録されています。休憩にも利用してね!



● **マイントピア別子** <http://www.besshi.com/> (株)マイントピア別子 ☎ 0897-43-1801

優美な自然の中で銅山文化を散策

マイントピア別子は、かつて日本三大銅山の一つに数えられ、新居浜発展の礎となった別子銅山300年の産業・文化遺産を活かした鉱山観光施設です。この名称は英語の「マイン」(鉱山)と「ユートピア」(理想郷)を合成してつけられました。鉱山鉄道、観光坑道、砂金採り、温泉が楽しめるほか、レストラン、ショッピングプラザ、バーベキューハウスなどもあります。

道の駅 マイントピア別子 端出場

車でJR新居浜駅→15分 新居浜IC→15分 ☎ 0897-43-1801



明治調の赤レンガ造りで、屋根は銅板葺きの端出場記念館

鉱山鉄道

端出場記念館と観光坑道を結ぶ鉱山鉄道は、国の登録有形文化財のトンネルを通り、日本最古級のピントラス橋を渡ります。
● 鉱山観光・観光坑道(税込)
大人 1,200円 中高生 800円
3歳以上 600円



観光坑道

旧火薬庫を利用した坑道。江戸時代の様子を再現した江戸ゾーン、別子銅山の近代史を学べる近代ゾーンのほか、体験型遊学パークは地下1,000m体験や鉱夫の体験などができます。



砂金採り体験パーク

皿(パン)を利用して、水槽の中の砂に隠された砂金を採り出します。採った砂金はお持ち帰り自由で記念カードにもできます。
● 体験料(税込)
中学生以上 600円 小学生 500円



ヘルシーランド別子(温泉)

天然鉱泉を生かした温泉施設で、露天風呂をはじめサウナ、ハーブバスなど各種の湯めぐりが楽しめます。また、映画鑑賞ができるシアタールームもあります。

【泉質】ナトリウム塩化物、炭酸水素塩冷鉱泉
【入浴料(税込)】大人 800円
小中学生 400円
幼児(3歳以上) 200円
【営業時間】10:00~22:00(通常期)



グラウンドゴルフ場

8ホール天然芝のグラウンドゴルフコースです。
【利用料】無料 【道具貸出】無料
※要予約(前日15:00まで)

マイントピア別子 東平

車でJR新居浜駅→40分 新居浜IC→40分 東平記念館 ☎ 0897-36-1300

端出場から標高差約600mに位置する東平。大正時代から昭和初期にかけて、別子銅山の採鉱本部が置かれ山の町として賑わっていたところ。東平歴史資料館やマイン工房、花木園があるほか、銅山越、西赤石山への登山口にもなっています。

東平歴史資料館



東平の歴史を、ジオラマ、地形模型、写真、映像などにより紹介しているほか、銅に関わる製品や鉱石、赤石山系の自然も紹介しています。
● 開館時間
10:00~17:00
(月曜(祝日の場合は翌日)・12月1日~2月末 休館)
※入館無料

マイン工房

銅板レリーフの銅工芸が楽しめる体験工房です。工房は保安本部や就業調所として利用されていたレンガ造りの遺跡を活用しています。



銅山の里自然の家

マイントピア別子・東平に隣接しており、各種団体の研修の場やご家族連れのおいで場としてご利用いただけます。

● 宿泊棟(各定員20人)7棟
● 研修室(兼食堂)140人収容可能
● 休館日 月曜・12月1日~2月末
銅山の里自然の家 ☎ 0897-32-1300



↑ 東平に今も残る索道基地跡と貯鉱庫跡

● 新居浜太鼓祭り 男祭りの異名を持つ、勇壮華麗な郷土の祭り



毎年10月中旬に市内各地区で開催される新居浜太鼓祭りは、四国三大祭りの一つに数えられ、新居浜が全国に誇る伝統行事です。金糸で刺繍された豪華絢爛な布団締めや幕を付けた太鼓台は、高さ約5.5m、長さ約12m、幅約3.4m、重さ約3tで、約150人の「かき夫」と呼ばれる男たちが支え担ぎます。祭り期間中は全国各地から観客が集まり、市内は祭り一色となって太鼓の音が鳴り響きます。市内には現在51台の太鼓台があります。

【歴史】

はっきりした資料は確認されていませんが、地域の伝承によると、祭礼の時、御輿に供奉する山車(一種で信仰を対象にした神輿渡御の際、その列に参加して厳かに供奉し、豊年の秋を感謝して氏神に奉納していた)もので、その起源は鎌倉時代、あるいは平安時代まで遡るといわれています。

【変遷】

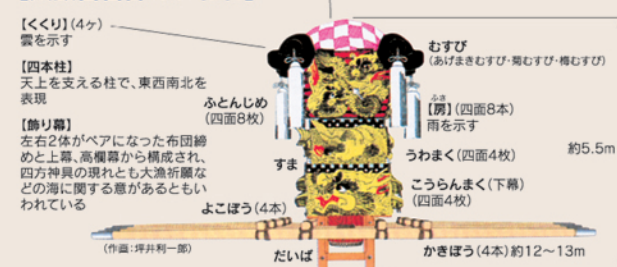
明治初期の太鼓台は高さ約3mで現在の子供太鼓台くらいの大きさでした。その後、別子銅山の産業が発展するにつれて、太鼓台を所有する地域が太鼓台に建設費用をかけるようになり、その豪華さ、巨大さを競うようになりました。現在とほぼ同じ大きさになったのは、明治中期から昭和初期にかけてです。

【太鼓のあれこれ】

- 太鼓の打ち方
「ドン・デン・ドン、(空白)」の四拍子が基本です。
- かき夫の掛け声
「チョーサージャー」、
「ソーリヤ、ソーリヤ」
「ソーリヤ、エイヤーエイヤー、
ヨイヤサーノサーサ」
などが基本的な掛け声です。
「チョーサ」とは「太鼓」という意味です。



【太鼓台各部のいわれ】



【船御幸(ふなみゆき)】

港から太鼓台を台船に乗せ、海上をパレードします。これは大漁などを祈願したもので、川西地区において隔年で行われます。

森林公園 ゆらぎの森

車で新居浜市街地→約90分 <http://www.besshiyama.com/yuragi/>
オーベルジュ ゆらぎ ☎ 0897-64-2220

赤石連山の四季折々の風景が望める標高700~900メートルに位置し、山間の生活風土や自然環境保護の大切さを楽しく遊びながら学ぶ施設として平成12年にオープン。園内では、宿泊施設を備えたレストラン「オーベルジュ ゆらぎ」や押し花、木工体験ができる「作業(さくら)工房」のほか、遊歩道も整備され、森の一日を満喫できます。



↑ オーベルジュ ゆらぎと直径45mもある日本最大級のドーム型藤棚(パーゴラ)

北側の部屋からは赤石連山、南側からはパーゴラを眺めることができ、宿泊や会議、研修にも利用できます。
収容人数26名(水曜定休・要予約)



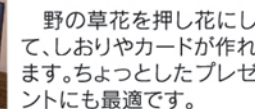
↑ オーベルジュ ゆらぎ内部

木工体験



体験

押し花体験



野の草花を押し花にして、しおりやカードが作れます。ちょっとしたプレゼントにも最適です。

広瀬歴史記念館

車でJR新居浜駅→13分 新居浜IC→12分 ☎ 0897-40-6333

幕末から明治の激動期に別子銅山の経営を支え、日本の近代産業を育成した広瀬幸平(さいへい)の足跡を通して新居浜市の生い立ちと日本の近代化の歩みをたどる施設。展示館と明治時代に建築された旧広瀬邸(国指定重要文化財)で構成されています。

● 開館時間 9:30~17:30
(月曜・祝日の翌日・年末年始 休館)
● 観覧料(税込) 一般520円 中学生以下無料



↑ 展示館内部



↑ 展示館外観